

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、経営理念である PVV (Purpose・Vision・Value) を意識したマテリアリティの実現に向け、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、人材投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には、業績に応じた安定的かつ継続的な賃金の引上げに取り組むとともに、人材投資については、多様なキャリアパスの提供、時間や場所にとらわれない労働環境の整備、研修制度の拡充や、自身のキャリアを主体的に考えるためのプログラムの提供など、「働きやすさ」の促進と「働きがい」の醸成の 2 軸の取り組みを通じて、個人と会社の持続的な成長の実現を目指します。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日
【2024年2月20日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL
【 <https://www.biz-partnership.jp/declaration/51170-07-00-tokyo.pdf> 】

以上

令和6年3月28日

三井情報株式会社
法人名

代表取締役社長 浅野 謙吾
役職・氏名（代表権を有する者）